

2024年9月30日

スマートフォン用アプリケーション「AcroSeeker®」のラオス・インドネシアへの対応拡大および利用エリア拡大のお知らせ

当社は、2020年4月より配信しておりますスマートフォン用アプリケーション「レイミーのAI病害虫雑草診断」の海外向けサービス「AcroSeeker®」（以下、「本アプリ」）の利用エリアを2024年8月26日付でラオスおよびインドネシアに拡大しました。また、世界160以上の国と地域^{注1}においても、本アプリをご利用頂けるようになったことをご知らせいたします。

本アプリは、当社と株式会社NTTデータCCSが共同で開発したAIが、作物や田畑に発生する病害虫や雑草を写真から診断するスマートフォン用の防除支援ツールです。グローバル統一名称「AcroSeeker®」^{注2}の下、2022年10月にインド・ベトナム・台湾に配信を開始、2023年1月に韓国を追加し、各国のニーズに合わせたAIや対象作物の開発、現地語へ対応を進めてまいりました。

この度ラオスにおいては、JICA技術協力プロジェクト「ラオス国フードバリューチェーン強化プロジェクト」が実施中であり、フードバリューチェーン強化の基本である農産物の生産性向上と品質改善を、スマート農業技術を通じて支援する目的で、本アプリのラオスでの配信が要望されました。これを受けて、ラオス農林省（Ministry of Agriculture and Forestry、以下「MAF」）の植物検疫所（Plant Protection Center）の全面協力のもと、アプリ開発を進めてまいりました。リリース後はMAFの農業普及局（Department of Agricultural Extension and Cooperatives）を中心に、本アプリをラオス国内の農家や農業普及員に広く普及して、農業現場の課題解決に役立つソリューションとして活用いただく計画です。また、インドネシアにおいては当社の農薬の普及・販売事業とあわせて、本アプリの普及を図ってまいります。

今後も本アプリの診断対象作物追加、機能の拡充など、世界の農業現場のニーズに合ったソリューション開発を行い、スマート農業の発展に貢献してまいります。

（注1）対応言語は英語のみとなります。

（注2）本アプリ名称は「NICHINO AI DIAGNOSIS」として初回リリース後、2024年1月より「AcroSeeker®」のグローバル統一名称に変更いたしました。



AcroSeeker®
2022年10月リリース 2024年1月名称変更（グローバル統一商標）

ローカライゼーションリリース
言語・診断対象を現地に合わせて最適化

 Laos 2024年8月26日	 Indonesia 2024年8月26日
 India 2022年10月	 Viet Nam 2022年10月
 Taiwan 2022年10月	 Korea 2023年1月

グローバル化
ローカライズしていない世界
各国で利用可能


Other Countries
2024年8月26日

レイミーの AI病害虫雑草診断
スマートフォン用アプリ
2020年4月リリース


Japan

無料!
ダウンロード

GET IT ON Google Play
Download on the App Store

 **NICHINO**

※日付はリリース日

* 関連情報についてはこちら

[AcroSeeker™ - Google Play](#)

[AcroSeeker™ on the App Store \(apple.com\)](#)

[フードバリューチェーン強化プロジェクト | 技術協力プロジェクト | 事業・プロジェクト - JICA](#)

以上

■ 本リリースについてのお問い合わせ先

日本農薬株式会社 総務・法務部 総務広報グループ

Tel:0570-09-1177